

One for Children, All for Children

久我山青光学園

学園便り 10月号

校長 宮田 守

令和7年9月30日発行

宿泊学習の意義

副校長 堀越 貴美子

秋の始まりを感じる季節となりました。2学期が始まって1か月がたち、子どもたちはリズムがつかめてきたようで、落ち着いて学習に取り組む姿がみられます。今月は、宿泊学習についてお伝えしたいと思います。

宿泊学習は、仲間と共に過ごし、経験を分かち合うことを通して学びを深める貴重な機会です。自分のことは自分で行う、生活の基本を大切にしながら、友達と助け合う時間の中で、子どもたちは大きな成長を見せてくれます。普段の学校生活では見られない子どもの一面に出会えるのも、この活動ならではの魅力です。

また、宿泊学習はキャリア教育の視点からも重要な意味を持ちます。キャリア教育は「将来の自立や社会参加に向け、いつでも、どこでも、誰とでも関わる力を育てる」ことが目的です。家庭でできることが、学校や社会の場面では難しくなることがあります。しかし、そのような体験を繰り返し重ねることで、子どもたちは新しい環境に適応する力を育んでいきます。宿泊学習での経験は、教員や仲間と共に新たなことに挑戦し、できることを広げていく貴重な一歩となります。

保護者の皆様には、宿泊学習に向けて準備や御協力をいただき、誠にありがとうございます。子どもたちの体験は、これからの生活や学習の土台となり、自信へとつながっていきます。今後も学校と御家庭が力を合わせ、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

視覚障害教育部門 中学部3年 修学旅行
教諭 岩田 恵実

9月17日(水)～9月19日(金)、中学部3年生は二泊三日で、修学旅行(横浜・東京ディズニーランド・鎌倉)に行きました。

1日目は横浜で、JICAと横浜カップヌードルミュージアムに行きました。JICAでは、国際協力の大切さについて学びました。横浜カップヌードルミュージアムでは、カップヌードルの歴史を勉強し、最後にはスープや具材を選んでオリジナルのカップヌードルを作りました。

2日目は東京ディズニーランドに行きました。班に分かれて行動し、どの班も事前の計画から仲間と話し合い、協力して行動することができました。

3日目は鎌倉で、鶴岡八幡宮や銭洗い弁天、江ノ島電鉄の電車を見に行きました。おみくじを引いたり、自分の好きなものをお小遣いで買ったりと、鎌倉の歴史や文化に触れることができました。

残り少ない中学部の生活ですが、今回の経験を生かして、仲間と協力していけたらと思います。

知的障害教育部門 小学部5年 移動教室
主任教諭 中里 健

9月10日(水)～11日(木)、小学部5年生は一泊二日の移動教室(高尾の森わくわくビレッジ)に行きました。子供たちは、様々な体験や友達との時間を通して、たくさんの学びや思い出をつくることができました。

1日目の染物活動では、Tシャツを折ったり、輪ゴムで縛ったりしながら、真剣に活動に取り組み、それぞれ個性あふれるTシャツを完成させました。部屋では、布団敷きや荷物準備など、自分でできることに挑戦しようとする姿も多く見られました。

2日目の調理活動では、カレーを作りました。友達と役割を分担しながら一緒に調理活動を楽しむ姿が見られました。自分たちで作ったカレーは美味しかったようで、たくさん食べて大満足のようでした。

今回の移動教室で得た経験は、これからの学校生活や日常生活の中で、大きな力となっていくと思います。